

Aichi

あいちの学童保育

県連協ニュースNo. 2号

2020年8月3日発行

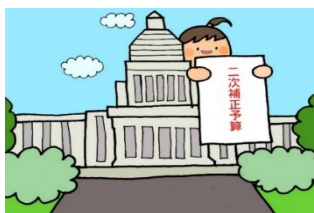
愛知学童保育連絡協議会

TEL:052-872-1972 FAX:052-308-3324

Email:aichigakudou@gakudou.biz

http://gakudou.me/aichikenrenkyou/

2020年度二次補正予算が確定



2020年度第二次補正予算において、次の予算が「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」として新たに盛り込まれました。

【学童保育関係箇所を抜粋】

①マスクや消毒液などの衛生用品や感染防止のための備品に対する支援

【補助基準額】②と合わせて1施設当たり50万円

②職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費（研修受講、かかり増し経費等）

【補助基準額】①と合わせて1施設当たり50万円

二次補正の補助事業は、①②あわせて50万円を上限としており、2019年度分の感染拡大防止対策に係る支援の50万円と合わせて、1施設最大で100万円の補助となりました。（補助割合は国10/10）

※2019年度：50万円（使い切るまで継続可能）

ただし市町村により違いがあります）

2020年度二次補正：50万円

①マスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品購入、施設等の消毒、感染症予防の広報・啓発等を行う事業について

実施要綱では

- ・タブレット等のICT機器の購入またはリース費用
- ・長机、飛沫防止パネルの購入
- ・換気設備の購入及び設置に要する経費

となっていますので、「感染防止に使う」ことの説明がつけば補助金の対象となります。

②職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的

に実施する事業（研修受講・かかり増し経費等）。

・「研修受講」実施要綱には、外部専門家等による研修の実施に要する費用とあります。新型コロナウイルス感染に関連する「衛生」「健康」に関わる研修はこれに該当します。

・「かかり増し経費等」職員が勤務時間外に消毒・清掃等を行った場合の超過勤務手当や休日勤務手当等の割増賃金や、通常想定していない感染症対策に関する業務の実施に伴う手当など、法人（施設）の給与規定等に基づき職員に支払われる手当等のほか、非常勤職員を雇上した場合の賃金に使えます。

ただし、以下の注意点があります。

※手当等の水準については、社会通念上、適当と認められるものであること。

※手当等については、一括支給で、「慰労金」という名称での申請は避け、給与規定または明細に手当の項目を必要とすること。

「新型コロナウイルス感染症」の対策として、国や都道府県からの通知や事務連絡は複数回に渡り、市町村がこの情報を十分に把握していない可能性もあります。現場で必要としている声を、市町村へ確実に届けましょう。また、再び流行の兆しが見えています。感染対策に関しての見直しを行うと同時に必要な備品整備等にも、この補助事業を有効に活用していきましょう。



わからないことがありましたら
県連協にご相談ください

「自然災害 学童保育支援基金」に ご協力をお願いします

九州や中部地方など日本各地で発生した「7月豪雨」による被害は、河川の氾濫・大規模な浸水・土砂崩れなど、広い地域に及びました。大規模な自然災害により被災した地域の学童保育を支え、恒常的・緊急的な支援に活用するために、募金協力の呼びかけをお願いします。（募金は全国連協へ直接お振り込みください。）

「自然災害 学童保育支援基金」の振込先
《郵便振替の場合》

・口座記号番号：00170-9-635754

・口座名称：全国学童保育連絡協議会

《銀行振り込みの場合》

・ゆうちょ銀行 ・〇一九店

・当座預金

・口座番号：0635754

・口座名称：全国学童保育連絡協議会（ゼンコクガクドウホイクレンラクキョウギカイ）

夏休み・暑さ対策などについての地域報告

7/19（日）に開催された県連協の運営委員会では、コロナ禍のなかでの夏休みの暑さ対策やイベントなどについて、各地域から報告し交流しました。

【行事について】

イベント、移動をともなうお出かけは中止にした地域は多くあります。キャンプに行く学童保育もありますが、キャンプができなくても火祭り（トーチ）はできないか検討したり、少人数でのお泊まり会、誕生日会を計画しているとの報告。子どものために何かできないか、と模索している様子がうかがえました。

【三密回避の工夫】

1フロアでの三密回避は難しく、部屋を借りた学童保育があります。食事、おやつや宿題の場面では、対面にしない、ジグザグ座りをするなどの他、2部制など工夫しているところもです。近所にお出かけする時はグループを分けて行く地域もありました。

【暑さ対策と換気】

扇風機を併用、経費はかかるけど、窓を開けてエアコンを使用というところが多く、例年の暑さ対策に加えて換気に注意を払っていました。外遊びは暑さと時間のバランスをとり、軒下も活用している、お茶氷をつくっているなど涼をとっています。

【会議の持ち方】

どこも苦勞しており、会議を行う施設が人数制限をしているという地域、大きな会場を借りて行った地域もあります。学年別の保護者会、グループLINE、オンライン会議も行われています。小さな子どもをみながら参加できる利点があり、保護者会参加率が上がったという思わぬ効果も報告されました。

指導員研修のご案内

2020年度はZoomを併用して、9月から新任研修と基礎研修と特別研修を行うことになりました。研修テーマや日程などについては、NPO法人学童保育指導員協会からの案内をご参照ください。

詳しくはこちら→



みんなで話そう学童保育ひろば in 岡崎 再延期について

11～12月頃に延期、開催を予定しておりました「ひろば」は、新型コロナウイルスの影響などもあり、2021年度に再延期することになりました。また尾張旭市での開催は繰越して、2022年度開催予定です。

ほいく誌コラム

2020年 7月号 特集“思春期”P14～17

「14年目のいま、娘がうちあけてくれたこと」

「14年前、私に勇気をくれたのは」



思春期は、成長する過程で誰もが過ごしていくものですが、その様子は当然、一人一人の子どもによって異なります。我が家の子ども（現在社会人1年目と大学生の男兄弟）の事を振り返ってみると、あれ？一体何時が思春期だったのかなあ？と、これといった記憶がありません。学童保育を通じた仲間の皆さんとの交流でも、「うちではなんにも無かったんですよ」と発言しつつ、内心、親のありようとしてそれで良かったのかな、と思うこともありました。

しかしこの記事を読んで、私のように子どもの思春期？何それ？というケースは、きっと【あるある】なんだなと感じました。一見、何事もないように見える子どもたちにも、日々を過ごし成長する中で色々な悩みは沢山ある事でしょう。でもそれは心の中に留めておいて、子どもたちなりに解決したり妥協したり折り合いをつけているのでしょう。

この記事を読んで、思春期の子を持つ親として大切なのは、そうした子どもたちを、どんなときでも幅広く受け止め、支えてやる事だと感じました。記事の中で加藤さん（筆者）は、朝忙しい中でも娘さんの髪を綺麗に縛ってあげ、「さっ、今日は頑張っておいで」の言葉と共に学校に送り出しておられたそうです。

記事はお母さんと娘さんがそれぞれに当時の事を振り返って書かれています。お母さんにとっては何気ない朝の一コマも、娘さんにとってはそれが心を支えてくれる大切なものだったと書かれています。皆さん、どうか読んでみて下さい。おススメ致します。

（豊橋市・保護者OB）

県連協ホームページリニューアルのお知らせ

県連協ニュースをはじめ、全国研ニュースなど、県連協から様々な学童保育の最新情報をお届けしています。是非、ご覧ください！

ブックマークはこちらのページをお願いします♪
<http://gakudou.me/aichikenrenkyou/>

